

福良港津波防災ステーション

福良港津波防災ステーションは、津波防災に関する2つの目的をもった施設です。保育所から小学校、中学校まで多くの子供たちが利用しています。また、県内外、海外から視察や研修にたくさんのひとが訪れます。

1. 津波に備える知識を広く皆様に知っていただく施設です。
2. 地域の皆様が、交流活動を通して、広く防災ネットワークを作っていただく拠点です。



愛称は『うずまる』です。うずしおのようにまるく、福良の町を守る。



福良地区津波避難7箇条

- ① 揺れが小さくても1分以上揺れたら、すぐ避難。
- ② 30分以内に避難場所へ逃げる。こと。(福良では)
- ③ てんでんばらばらで逃げられる信じあえる家族づくり、地域づくり。
- ④ 少しでも高いところを目指すこと。
- ⑤ 建物へ逃げ込むのは最後の手段。
- ⑥ 一度避難したら、絶対に家に戻らない。
- ⑦ 避難のためにも、住宅の耐震化、家具の固定。



団体での来館も多く、様々な方に津波防災について学習・体験いただいています！

来館者数(人)：平成22年9月～令和7年2月まで

平成22年度	8,307
平成23年度	17,933
平成24年度	19,248
平成25年度	16,520
平成26年度	17,408
平成27年度	15,216
平成28年度	16,912
平成29年度	19,182
平成30年度	22,317
令和1年度	19,768
令和2年度	12,739
令和3年度	13,419
令和4年度	17,069
令和5年度	16,572
令和6年度	19,241
合計	251,851

津波防災と観光の両方に取り組んでいることが福良の自慢です。

防災の取組を通じて、福良の「ひと」「まち」を知ってもらいたいです。

自分で体験した防災の取組をみんなに伝えていきたいです！

総来館者数
25万人達成！



はとざき
波戸崎リーダー



たにくち
谷口リーダー



ただ
多田リーダー

※平成22年度は開館した9月から3月まで。
※令和5年度、令和6年度は2月末まで。

◆福良港津波防災ステーションでは、学習リーダーが常駐し、津波に対する防災学習を行っております。より多くの方にご来館いただきますようお待ちしております。



◆福良港津波防災ステーション
開館時間：10：00～16：00
休館日：毎週月曜日(※月曜日が祝日の場合、翌火曜日が休館日となります)

〒656-0501 兵庫県南あわじ市福良甲 1528-4
TEL:0799-50-2381 FAX:0799-50-2382
URL: <http://www.tsunami-bousai.info>
E-mail: info@tsunami-bousai.info

福良港津波防災ステーション かわら版

第14号 令和7年3月



うずまるフェスタ&福良港津波防災インフラ完成式典の同日開催!!

恒例のうずまるフェスタ、今年は福良港で工事が進められてきた湾口防波堤と防潮堤の完成式典と同日開催!!
天気にも恵まれ、地域の皆さんや観光客など、多くの参加者が集まり、いつも以上に盛り上がりました!

■うずまるフェスタ開催概要
日時：令和6年11月4日(月・祝) 9:00~12:00
場所：福良港津波防災ステーション
主催：うずまるフェスタ実行委員会

■開会の挨拶

うずまるフェスタ実行委員会の原会長、南あわじ市長から、うずまるフェスタ開催と湾口防波堤・防潮堤の完成にあたりお祝いの挨拶がありました。



原会長



守本市長

■うずまるフェスタの開催

開会の挨拶の後は、南あわじ市ふるさと応援大使となったヴァイオリニストの益子侑さんの演奏や、地域のみなさんによる歌や踊りが披露され、例年にも増して盛り上がりました。



ヴァイオリニスト益子侑さん・おにおんキッズ・人形座等とのコラボレーション
(南あわじ市ふるさと応援大使委嘱式&ミニコンサート)



福良こども園園児による演技

和太鼓美鼓音による太鼓演奏

地元素麺組合による振るまい(備蓄素麺)

■福良港津波防災インフラ完成式典

行政機関をはじめ地元関係者の方が集まり、完成式典が行われました。



テープカット、くす玉開披、福良小学校によるパネル披露

南淡中学校による演奏

完成した湾口防波堤・防潮堤の紹介

福良港では津波水位が最大 8.1m と高く、最大で 119ha (甲子園球場約 31 個分) もの浸水が発生すると予想されました。これを軽減するため、湾口防波堤とその水門、防潮堤と水門・陸こうが整備されてきました。これにより、浸水面積はレベル1津波で約 6 割縮減、レベル2津波で約 3 割縮減できると想定されています。

■整備内容

湾口防波堤：1.1km (新設 0.4km、かさ上げ 0.7km、水門整備 3 基)
 防潮堤の整備 3.3km (新設 0.9km、越流・引波対策 2.4km)
 水門・陸間の閉鎖操作の自動化 48 基

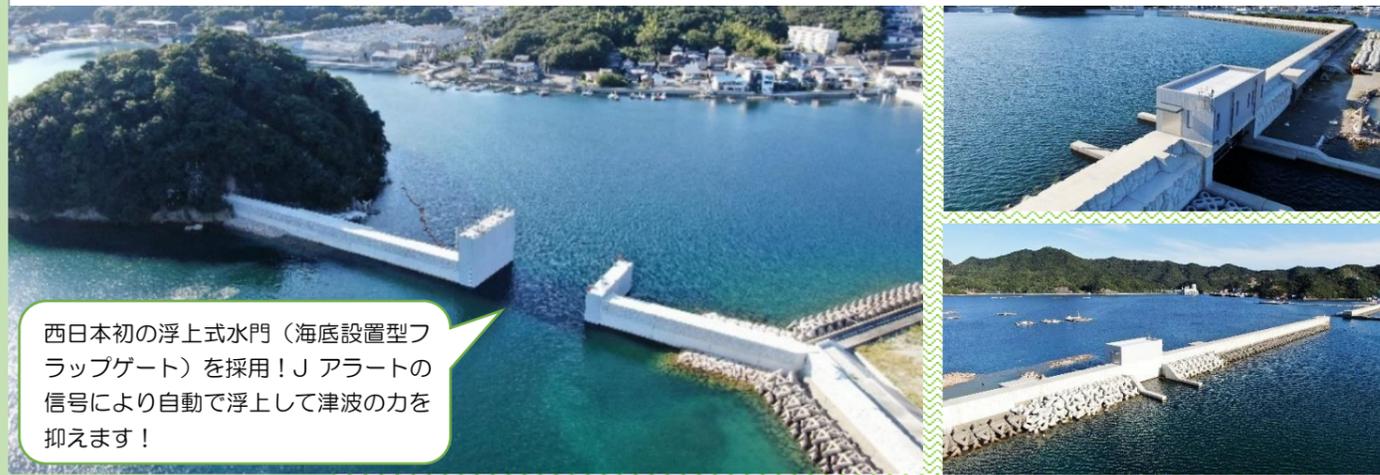
レベル1津波

発生頻度が高い津波 (おおむね 100 年に 1 回)

レベル2津波

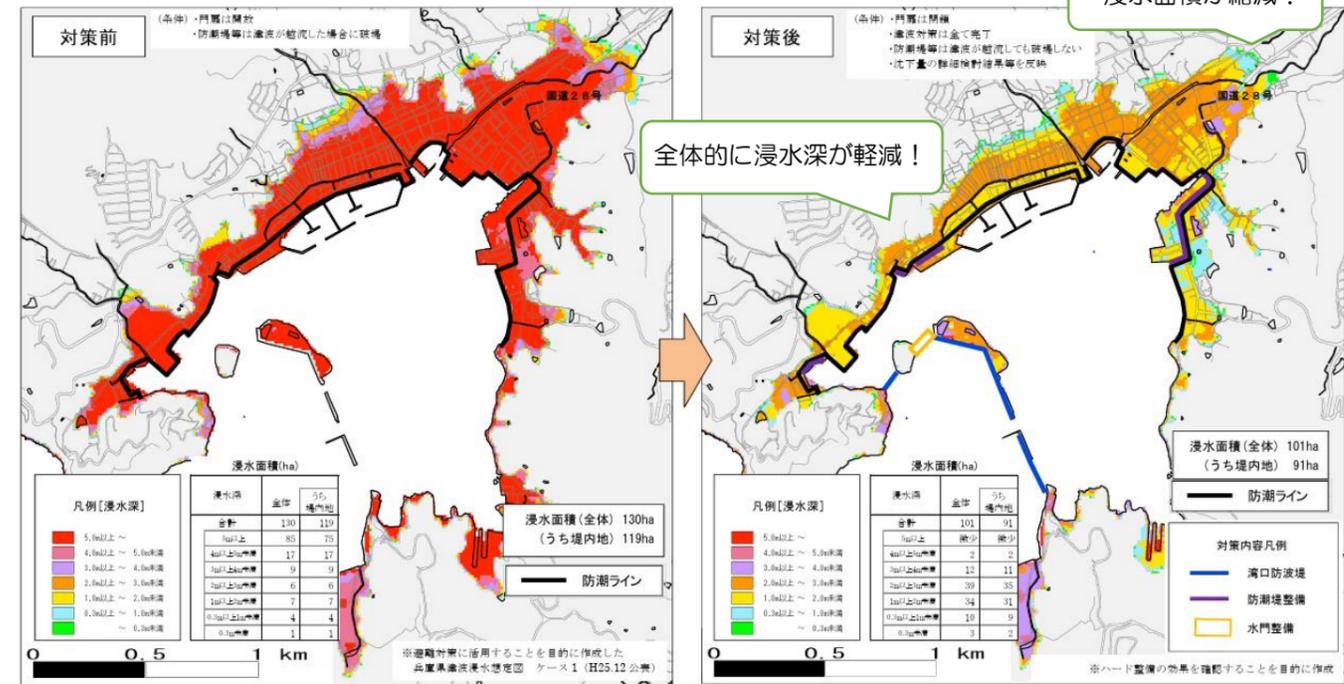
最大クラスの津波 (発生頻度は低いものの、発生すれば甚大な被害をもたらす)

今回整備した水門や陸こうは、地震時に発信される J アラート信号を受信し、最短 5 分程で自動的に閉鎖されます。



西日本初の浮上式水門 (海底設置型フラップゲート) を採用！ J アラートの信号により自動で浮上して津波の力を抑えます！

■津波浸水想定図 (福良港 レベル2津波)【兵庫県ホームページ、津波防災インフラ整備計画より】



全体的に浸水深が軽減！

浸水面積が縮減！

今回の整備で浸水想定は縮減されたものの、浸水被害をすべて解消することはできません。地震時には一刻も早く避難することが重要であることに変わりはありません。今回のインフラ整備を契機として、津波防災まちづくり日本一のまち福良を目指した取組みを進めていきたいですね！

観光施設による避難訓練を初開催！

福良観光の観光拠点であるうずしおドームなないろ館とその周辺。毎年多くの観光客が観潮船や淡路人形座を訪れています。今回、これらの観光施設による避難訓練が初めて開催されました。避難訓練では、実際に福良を訪れた観光客約 40 名や、地域の方々が参加されました。



主催：うずまるフェスタ実行委員会
 協力：ジョイポート淡路島 (株)、淡路人形座、福良町づくり推進協議会

避難訓練では、南海トラフ大地震が発生したと想定し、なないろ館から福良口までの 1.4km を観光施設のスタッフが誘導。南あわじ市職員も参加し、観光客の避難誘導の手順や注意点について互いに確認しながら避難訓練を実施しました。



普段から避難訓練に力を入れておられ、スタッフ同士での伝達・連携もテキパキと行われていました。トランシーバーも使いながら避難者の様子や道路の状況を確認伝達しながら誘導します。

福良口までの避難完了にかかった時間は約 30 分。実際に歩いてみると遠く感じた方もいらっしゃいましたが、落ち着いて避難することが大事だということを改めて実感されていました。

観光に来てくださった方も従業員も、誰一人犠牲者を出さないよう、これからも備えていきます！



令和 6 年 3 月 22 日より、福良口に新たに津波避難場所が整備されました！